

第1章 西別湿原ヤチカンバ群落地調査の目的と経過

別海町教育委員会

1-1 ヤチカンバの概要と調査に至る経緯

ヤチカンバ *Betula ovalifolia* はカバノキ属ヒメカンバ節に属する低木性のカンバで、日本では北海道十勝管内更別村と北海道根室管内別海町の2箇所にものみ隔離分布する北海道特産種である。高さは1～2m、幹は灰褐色で光沢があり、若い枝には白い粒状の腺点がある。葉は長さ1.5～4.5cm、幅1～2.8cm、楕円形～広楕円形で、基部は広いくさび形をしている。花は葉の展開前に開花し、果穂は1～1.5cmの長楕円状型で直立し、8～9月に成熟する。(高橋 2003)

1958年に北海道更別村において我が国で初めて発見されたヤチカンバは、1974年に別海町の西別湿原にも自生していることが発見された。別海町教育委員会は、1979年にヤチカンバ自生地の一部を「ヤチカンバ群落地」として別海町指定文化財に指定した。2011年には「西別湿原ヤチカンバ群落地」として北海道指定天然記念物に指定された。

別海町教育委員会は、2015年に植物の専門家などから成る西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会を設置し、保護対策について検討を重ねる中で、その学術的価値の高さを鑑み、西別湿原の恒久的保存に向けて万全の保護対策を講じていくため、国の天然記念物指定を目指すこととした。

国指定に向けた基礎資料とするため、「天然記念物緊急調査」として文化庁から補助金を受けて、2019年度から2021年度の3年間をかけ、西別湿原ヤチカンバ群落地の各種調査を実施した。

1-2 調査の目的

調査の目的は次の2点である。

1. 国の天然記念物指定を目指し、西別湿原ヤチカンバ群落地の学術的価値を明らかにする。
2. 保護対策を立てる上での基礎資料とする。

1-3 調査範囲

主な調査範囲は、別海町においてヤチカンバが自生する西別湿原のうち、北海道指定天然記念物「西別湿原ヤチカンバ群落地」指定地(別海町別海 71-3・6・25・26)と、2016年に土地所有者から寄贈を受けて町有地化した「新町有地」と呼んでいるエリア(別海町中西別 170-11)である。本報告書では、「新町有地」を1地区(又は「新町有地」)、道指定文化財(天然記念物)指定地の内、道路南側の三角地帯を2地区(又は「道指定地南」)、道路北側を3地区(又は「道指定地北」)と呼ぶ。

調査範囲の面積は、1地区が27,956㎡、2地区が3,968㎡、3地区が70,003㎡で、合計101,927㎡である。

調査範囲の位置を、図1-1～3に示す。

1-4 調査内容

1-4-1 ボーリング調査

2020年8月31日～9月1日に、道指定天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落地指定地に隣接する

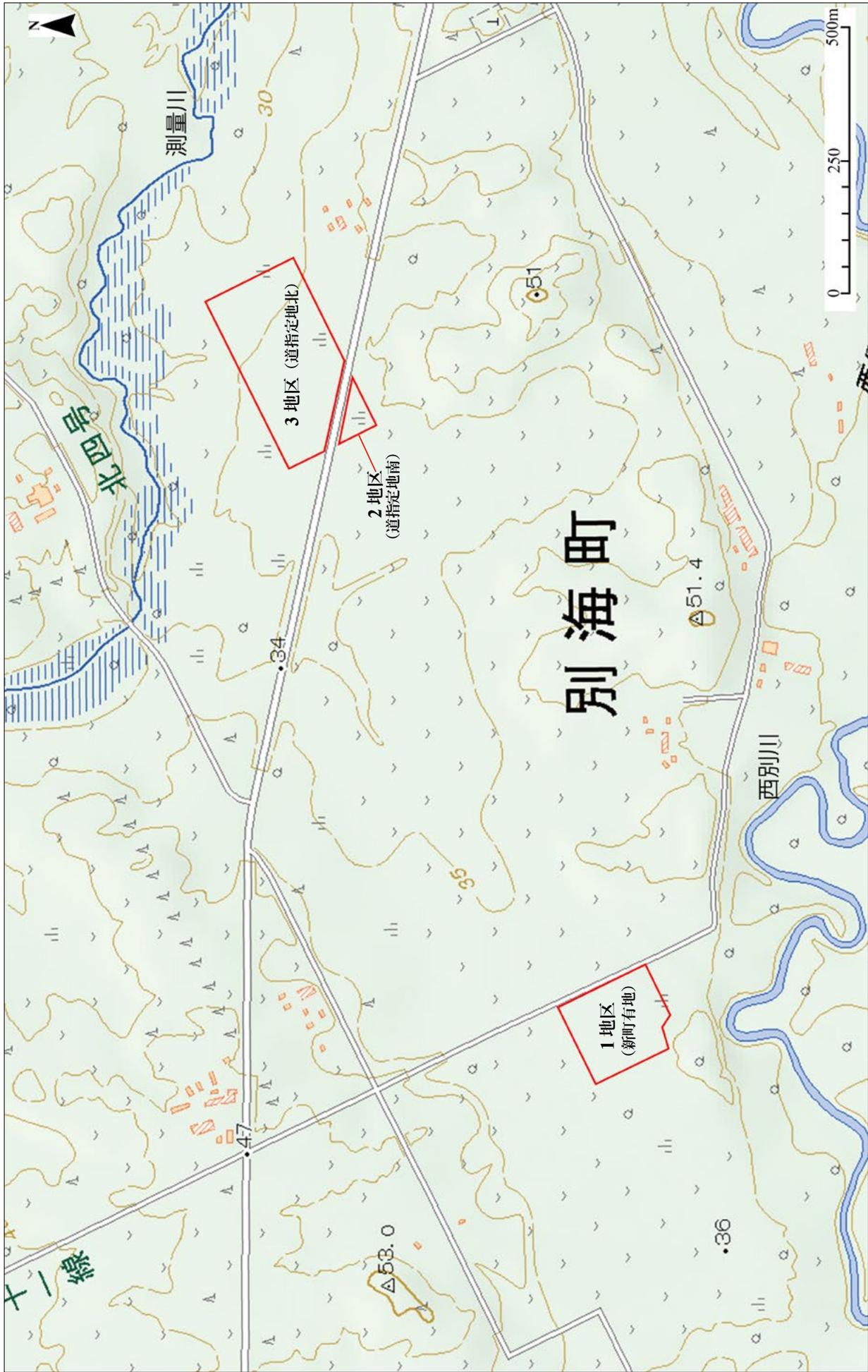


図 1-1 西別湿原調査範囲図 電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成



图 1-2 西別湿原調査範囲 1 地区現況航空写真 ※数字は地番を表す。 2020 年航空写真（別海町役場所蔵）から作成



図 1-3 西別湿原調査範囲 2・3 地区位置図 ※青線は筆界、数字は地番を表す。 2020 年航空写真 (別海町役場所蔵) から作成

別海 72 番地 9 (私有地) において、所有者の許可を得た上で 10 m のオールコアボーリング調査を行った。ボーリング作業は日本工営株式会社に業務委託して実施した。

ボーリングコアから 2020 年に 3 試料、2021 年に 5 試料を選んで放射性炭素年代測定を行った。また、2020 年に 2 試料を選んで軽石に含まれる火山ガラスの主成分化学分析を行った。試料の選定に当たっては、西別湿原ヤチカンバ保護対策検討委員会の鈴木三男委員長と古代の森研究舎の吉川昌伸氏の監修を受けた。年代測定は 2020 年は日本工営株式会社に、2021 年は株式会社パレオ・ラボに業務委託して実施した。

2021 年に、ボーリングコアからの花粉分析を、古代の森研究舎の吉川昌伸氏に依頼して実施した。

1-4-2 水位観測

別海町教育委員会では、2010 年から西別湿原ヤチカンバ群落地に水位計を設置し、現在に至るまで水位モニタリングを継続している。

2010 年から 2019 年までの 10 年間の西別湿原水位データの整理・解析を日本工営株式会社に業務委託して行った。

1-4-3 植生調査

道指定天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落地指定範囲及び未指定地のヤチカンバ自生地の植生調査を、2020 年は株式会社地域環境計画に、2021 年は日本工営株式会社に業務委託して実施した。調査に当たっては西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会の佐藤雅俊委員が監修するとともに、2021 年には佐藤委員が補足調査を実施した。

1-4-4 維管束植物調査

2017 年から 2020 年にかけて、道指定天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落地指定範囲及び未指定地のヤチカンバ自生地の維管束植物調査を標津町野の植物の会代表の松下和江氏に依頼して実施した。また、2021 年には西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会の高嶋八千代委員が補足調査を実施した。

1-4-5 蘚苔類調査

2020 年に道指定天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落地指定範囲及び未指定地のヤチカンバ自生地の蘚苔類調査を、国立科学博物館植物研究部の樋口正信氏と都留文科大学の上野健氏に依頼して実施した。

1-5 保護対策検討委員会開催経過

北海道指定天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落地の保護保存を図るため、2015 年に西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会を設置し、毎年会議を開催してきた。本調査の実施と本報告書の作成についても、文化庁文化財部記念物課と北海道教育委員会文化財・博物館課の指導・助言の下、同委員会において十分に協議を行ながら進めてきた。以下にその開催経過を以下に記す。なお 132 ペー

ジに設置規則を、133 ページに委員名簿を掲載した。

・平成 27 年度第 1 回保護対策検討委員会

日 時：2015 年 10 月 29 日（木）午前 9 時より午後 4 時 30 分

場 所：別海町役場 3 階 301 会議室及び西別湿原ヤチカンバ群落地

出席者：(委員)

鈴木三男委員長、大原雅副委員長、粟野武夫委員、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、藤村善安委員

(オブザーバー)

田才雅彦主査（北海道教育委員会）、松倉穂子氏

(事務局)

真籠教育長、中谷教育部長、下地教育部次長、戸田主査、鈴木主事

議 事：報告第 1 号 西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会設置に至る経緯について

報告第 2 号 西別湿原ヤチカンバ群落地の現状について

協議第 1 号 西別湿原ヤチカンバ群落地の保護対策について

その他

・平成 28 年度第 1 回保護対策検討委員会

日 時：2016 年 8 月 30 日（火）午後 1 時より午後 5 時 30 分

場 所：別海町役場 3 階 301 会議室及び西別湿原ヤチカンバ群落地

出席者：(委員)

鈴木三男委員長、粟野武夫委員、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、藤村善安委員
(オブザーバー)

田中厚志調査官（文化庁）、藤原秀樹主査（北海道教育委員会）、松倉穂子氏
(事務局)

中谷教育部長、下地教育部次長、戸田主査、川村臨時事務員

議 事：協議第 1 号 立入禁止看板設置について

協議第 2 号 未指定のヤチカンバ自生地について

協議第 3 号 西別湿原ヤチカンバ群落地緊急調査について

その他

・平成 29 年度第 1 回保護対策検討委員会

日 時：2017 年 9 月 1 日（金）午後 1 時より午後 5 時 30 分

場 所：別海町役場 3 階 302 会議室及び西別湿原ヤチカンバ自生地

出席者：(委員)

鈴木三男委員長、大原雅副委員長、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、永光輝義委員、藤村善安委員

(オブザーバー)

松倉穂子氏

(事務局)

伊藤教育長、山田教育部次長、戸田主査、川村臨時事務員

議 事：報告第 1 号 ヤチカンバ自生地の取得について

報告第2号 蘚苔類予備調査について
報告第3号 立入禁止看板設置について
報告第4号 植物相調査について
協議第1号 ヤチカンバ自生地への育成牛の侵入について
協議第2号 西別湿原ヤチカンバ群落地緊急調査について
その他

・平成30年度第1回保護対策検討委員会

日時：2018年9月6日（木）午前10時から午後0時10分

場所：別海町役場3階302会議室

出席者：（委員）

鈴木三男委員長、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、永光輝義委員
（オブザーバー）

松倉穂子氏、齋藤央事務局長（新篠津ツルコケモモを守る会）
（事務局）

伊藤教育長、石川教育部次長、戸田主査、川村臨時事務員

議事：報告第1号 平成29年度植物相調査について

報告第2号 平成30年度植物相調査について

報告第3号 帯広畜産大学との受託研究契約締結について

報告第4号 西別湿原ボーリング調査について

報告第5号 北海道産ヤチカンバの染色体倍数性と学名・固有性について

報告第6号 ヤチカンバとダケカンバとの雑種個体およびヤチカンバ個体の種子充実率
について

協議第1号 西別湿原ヤチカンバ群落地緊急調査について

協議第2号 ヤチカンバ雑種の取り扱いについて

その他

・令和元年度第1回保護対策検討委員会

日時：2019年9月4日（水）午前10時から午後3時

場所：別海町役場3階301会議室及び西別湿原ヤチカンバ群落地

出席者：（委員）

鈴木三男委員長、大原雅副委員長、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、高嶋八千代委員、永光輝義委員

（オブザーバー）

村本周三専門主任（北海道教育委員会）、松倉穂子氏
（事務局）

伊藤教育長、石川教育部次長、戸田主幹

議事：報告第1号 平成30年度植物相調査について

報告第2号 令和元年度植物相調査について

報告第3号 平成30年度帯広畜産大学受託研究報告書について

報告第4号 日本植生史学会第33回大会一般研究発表「西別湿原にヤチカンバはいつから生えていたか？」について

報告第 5 号 令和元年度西別湿原ヤチカンバ群落地調査業務委託について
報告第 6 号 ヤチカンバ見学会の実施について
報告第 7 号 令和元年度西別湿原地下水位データ整理・検討業務委託について
協議第 1 号 令和 2 年度西別湿原ヤチカンバ群落地調査について
協議第 2 号 調査報告書の内容について
協議第 3 号 今後の予定について
その他

・令和 2 年度第 1 回保護対策検討委員会

日 時：2020 年 9 月 4 日（水）午前 9 時から午後 0 時 20 分

場 所：別海町役場 3 階 301 会議室及び西別湿原ヤチカンバ群落地

出席者：(委員)

鈴木三男委員長、大原雅副委員長、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、高嶋八千代委員、永光輝義委員

(オブザーバー)

赤井文人主任（北海道教育委員会）

(事務局)

登藤教育長、石川教育部次長、戸田主幹、小針事務員

議 事：報告第 1 号 令和元年度西別湿原地下水位データ整理・検討業務委託について

報告第 2 号 平成 31（令和元）年度西別湿原ヤチカンバ群落地調査業務委託について

報告第 3 号 令和元年度植物相調査について

報告第 4 号 令和 2 年度植物相調査について

報告第 5 号 令和 2 年度西別湿原ヤチカンバ群落地調査業務委託について

報告第 6 号 令和 2 年度西別湿原蘚苔類調査について

報告第 7 号 令和 2 年度ヤチカンバ生育地調査について

協議第 1 号 令和 3 年度西別湿原ヤチカンバ群落地調査について

協議第 2 号 調査報告書の内容について

協議第 3 号 今後の予定について

その他

・令和 3 年度第 1 回保護対策検討委員会

日 時：2021 年 8 月 6 日（金）午後 2 時から午後 4 時

場 所：別海町役場 Web 会議室 (Zoom によるウェブ会議)

出席者：(委員)

鈴木三男委員長、大原雅副委員長、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、高嶋八千代委員、永光輝義委員

(オブザーバー)

田中厚志調査官（文化庁）、赤井文人専門主任（北海道教育委員会）、吉川昌伸代表（古代の森研究舎）、小林浩二次長（更別村教育委員会）、相澤慧係長（同）

(事務局)

登藤教育長、石川教育部次長、戸田主幹

議 事：報告第 1 号 令和 2 年度西別湿原ヤチカンバ群落地調査業務委託について

報告第2号 令和2年度植物相調査について
報告第3号 令和2年度西別湿原蘚苔類調査について
協議第1号 令和3年度西別湿原ヤチカンバ群落地調査について
協議第2号 調査報告書の内容について
協議第3号 今後の予定について
その他

・令和3年度第2回保護対策検討委員会

日 時：2022年2月2日（水）午前10時から午後0時

場 所：別海町役場 Web 会議室 (Zoom によるウェブ会議)

出席者：(委員)

鈴木三男委員長、大原雅副委員長、金澤裕司委員、佐藤雅俊委員、高嶋八千代委員、永光輝義委員

(オブザーバー)

田中厚志調査官（文化庁）、赤井文人専門主任（北海道教育委員会）、吉川昌伸代表（古代の森研究舎）、樋口正信氏

(事務局)

戸田主幹

議 事：協議第1号 西別湿原ヤチカンバ群落地調査報告書について

文献

別海町教育委員会 (2013) 北海道指定天然記念物「西別湿原ヤチカンバ群落地」調査報告書.

高橋英樹 (2003) ヤチカンバ. 矢原徹一 (監修)・永田芳男 (写真), 『絶滅危惧植物図鑑 レッドデータプランツ』 pp.406, 山と溪谷社, 東京.